

平成30年度学校評価アンケート結果のまとめ

昨年(29年度)の11月に実施いたしました「平成30年度学校評価アンケート」の集計結果等を報告させていただきます。保護者の皆様には大変お忙しい中、とても短い期間でお願いしたアンケートでしたが、全保護者の97.1%(29年度:95.9%)の皆様からご回答をいただき感謝申し上げます。本当にありがとうございました。集計結果の方は、生徒・保護者・教職員に対するすべての項目を掲載し、「当てはまる」「やや当てはまる」の肯定的な評価の割合を前年度と比較できるように表記しました。以下にアンケート結果の特徴的な点を述べます。

【肯定的評価が80%を超えた項目】(29年度)

生徒	保護者	教職員
23項目中20項目(17)	25項目中12項目(16)	25項目中23項目(23)

【昨年度との比較で3ポイント以上上昇した項目】

生徒	保護者	教職員
6項目(0)	2項目(0)	4項目(11)
5「授業アンケートの成果」 64.3% 72.1% : +7.8P	18「道徳や人権」 73.1% 78.8% : +5.7P	13「部活動の指導」 87% 96.3% : +9.3P

【昨年度より3ポイント以上下降した項目】

生徒	保護者	教職員
3項目(8)	6項目(6)	9項目(8)
11「学年合唱」91.8% 86.9% : -4.9P、20 「学校・学年だより」 52.8% 47.9% : -4.9P	3「課題解決学習」80% 73.1% : -6.9P	25「進路学習の地域人材の 活用」86.9% 64% : - 22.9P

【考察】

全体としては、前年度比+3Pの項目が教職員の11項目のみであった29年度に対して、30年度は生徒が6項目、保護者が2項目、教職員が4項目の合計12項目でした。保護者の肯定的評価が昨年度の16項目から12項目と減少し、重点項目でも目標値を超えた項目が7項目中1項目の22「学校行事の参観」のみであり、無回答の数値も+16.2Pであったことから設問の見直しも含めて検討が必要かと考えております。

現在、アンケート結果の各項目の数値や学校関係者評価等をふまえ、今年度の教育活動の成果と課題を明確にした上で、改善策を練り、31年度の教育課程の編成に取り組んでいるところです。

今後につきましては、「生徒一人一人が目を見せ、何事に対しても前向きに活動できる学校」を創造するために、生徒と教職員、保護者と教職員、そして教職員間における信頼関係をこれまで以上に構築し、本校の教育活動のより一層の充実を図ってまいりますので、何とぞよろしくお願ひいたします。